

今週の話題:

< 急性弛緩性麻痺 (AFP) 監視体制とポリオ発生率、1998年-1999年、(1999年11月25日現在) >

急性弛緩性麻痺 (AFP) 監視体制とポリオ発生率、1998年-1999年 (1999年11月25日現在)

国/地域	AFP監視体制、1999年				ポリオ症例数	
	AFP監視体制における予測報告数 ^a	AFP報告報告症例数 ^b	ポリオ以外の年間AFP罹患率 ^c	適切な標本を得たAFP症例数 ^d	1999年ポリオ症例数 (野生ポリオウイルス) ^e	1998年確定症例数 (野生ポリオウイルス) ^e
地域別総数						
アフリカ地域 ^f	78%	3 967	0.70	31%	2 600 (180)	993 (96)
アメリカ地域 ^g	92%	1 322	0.83	69% ^h	0 (0)	0 (0)
東地中海地域	98%	2 226	1.11	69%	465 (232)	553 (225)
ヨーロッパ地域	69%	1 446	0.97	70%	0 (0)	26 (26)
南東アジア地域	93%	9 331	1.34	73%	1 866 (608)	4 777 (1 942)
西太平洋地域	89%	4 075	1.06	86%	0 (0)	0 (0)
世界の総数	84%	22 367	1.14	67%	4 931	6 349

AFP はポリオとの鑑別が重要であり、1999年におけるAFP監視体制状況および検体回収率等と合わせてポリオの症例数が示されている。国別データはWER参照。

流行ニュースの続報

インフルエンザ

ベルギー (1999年11月28日)¹: インフルエンザAウイルスが10月の第2週以来、散発的に分離されている。11月の最終週に分離されたインフルエンザAウイルスの3例は subtype A (H3N2) と同定された。

カナダ (1999年11月20日)¹: 国内のインフルエンザの流行は11月は限局していた。インフルエンザ監視体制地域ではインフルエンザの流行が無かったか散発的流行のどちらかであり、分離されたウイルスの殆どがA型であった。

中国 (1999年12月2日)²: 急性呼吸器疾患の症例数は11月初め以来増加し続けている。数例のインフルエンザAウイルス(H3N2)とインフルエンザBウイルスが南中国の散発的症例から分離された。

チェコ共和国 (1999年11月20日)²: 急性呼吸器疾患の総症例数は通常の季節レベルであった。1例のインフルエンザAウイルスが11月の第3週に分離された。ボヘミアの北部から今季初のインフルエンザBウイルスが血清学的に検出された。

フィンランド (1999年12月4日): 今シーズン初のインフルエンザAウイルスと同定された2症例はトゥルク地方の成人男性とサロ地方の子供で、両地方ともフィンランドの南西に位置している。これらのケースは抗原検出法により診断された。

ラトヴィア (1999年11月28日): 10月初め以来、インフルエンザの流行は認められていないが、11月最終週に1例のインフルエンザAウイルスが抗原検出法により診断された。

スイス (1999年11月20日)³: 10月の最終週にインフルエンザ様疾患のわずかな増加が見られたと医療機関を通して報告があったが、インフルエンザの流行は報告されていない。11月の最終週にローザンヌの31才男性からインフルエンザAウイルスが分離された。

参照¹No. 46, 1999, p. 398. ²No. 45, 1999, p. 384 ³No. 43, 1999, p. 363.

< オランダにおける国際保健規則の適応されている港 > (WER参照)

< 世界の C型肝炎有病率の続報¹ >

表 1: 131の国/地域により公表された C型肝炎の有病率の一覧表 (1999年 6月現在)(WER参照)。

参照¹No. 10, 1997, p. 65-69, No. 46, 1997, p. 341-344

表 2 WHOの地域別 C型肝炎患者の推定有病率と患者数

WHO地域	総人口 (百万)	有病率 (%)	感染者人口 (百万)	データ得られず (国数)
アフリカ	602	5.3	31.9	12
アメリカ	785	1.7	13.1	7
東地中海	466	4.6	21.3	5
ヨーロッパ	858	1.03	8.9	19
南東アジア	1500	2.15	32.3	3
西太平洋	1600	3.9	62.2	11
総数	5 811	18.7	169.7	57

有病率はアフリカ地域と東地中海地域で高くヨーロッパ地域が最も低かった。感染者数は西太平洋地域が最も多く、ヨーロッパ地域で最も少なかった。

< WHOヨーロッパ地区における web-based surveillance data system(CISID) >

WHOヨーロッパ地域事務局では Computerized Information System for Infectious Diseases(CISID) が発達している。本システムは監視体制のデータをコンピュータで収集、管理、提示を行うものである。データは disease programによって症例ごとや統計ごとのどちらからでも world wide webを通して入力やアクセスができる。単に感染症を最新の疫学的見地からだけでなく、国家背景を融合させた構造を提示することにより、これらの感染症の比較、解析が容易にできるシステムになっている。

CISIDの主要特性の詳細と今後検討されている機能に関しては WER参照

流行ニュース

コンゴ共和国におけるコレラ

コンゴ川とその支流の洪水により、11月初め以来 74例のコレラと 4例の死者というキンシャサ地域での最悪の状況が報告されている。現在 WHOと共同で保健省の調査が進行中であり、また予防と管理の対策が実施されている。水位の上昇により飲料水の供給システムが壊滅状態にあり、重大な汚染の危険がある。

(柳裕香、白川卓、宇賀昭二)